



中华人民共和国国家发展和改革委员会

National Development and Reform Commission



中国大气污染防治对策措施

国家发展和改革委员会资源节约环境保护司

环境保护处 陸冬森 2014.12



中国は発展途上国である、この近年、工業化、都市化の進行過程の加速に伴い、エネルギー消費及び自動車保有量の急速な増加を招き、**大気汚染防止の情勢は厳しくなっている。**



現在、環境負荷に耐える能力は既に上限に達しているか又は近付いており、人民大衆の良好な生態環境に対する期待に順応し、グリーン低炭素循環発展の新方式を形作ることを推進しなければならない——**2015年中央経済工作会议。**



- 2013年9月10日、国務院は「**大気汚染防止行動計画**」を配布し、10の分野で35の措置を確定した。
- 2013年9月17日、国家環境保護部、国家發展改革委員会等の部門は共同で「北京天津河北省及び周辺地区が大気汚染防止行動計画を実行する実施細則」を配付した。
- 2013年10月、**北京天津河北省及び周辺の大気汚染防止協同メカニズム**が確立された。メンバーには北京市、天津市、河北省、山西省、内蒙古自治区、山東省並びに国の関連する部・委員会が含まれる。
- 2014年初、**長江デルタ地域の大気汚染防止協同メカニズム**が確立された。メンバーには上海市、安徽省、江蘇省、浙江省並びに国の関連する部・委員会が含まれる。



中国の大気汚染防止の主な措置



1 エネルギー構造を調整し、クリーンエネルギーの供給を増加する。



2 車・ガソリン・道路の統一的計画案配を強化し、自動車による汚染防止を推進する。



3 市場メカニズム作用を発揮させ、総合価格経済政策を実施する。



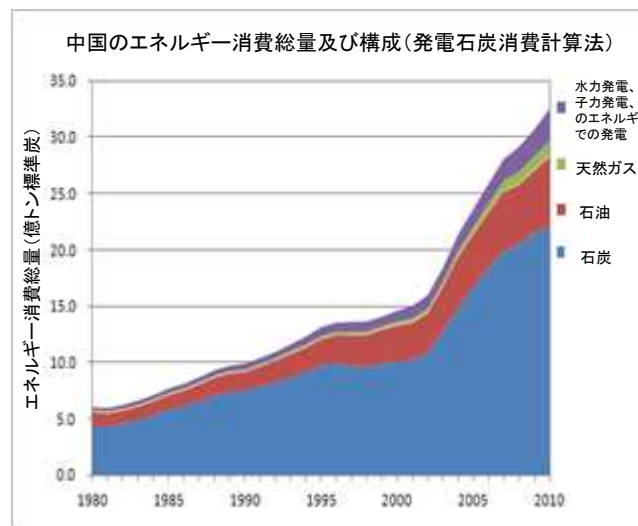
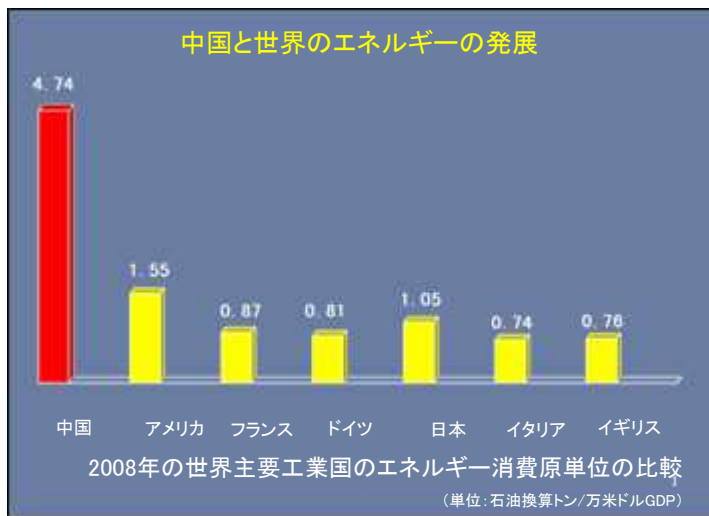
4 汚染モニタリング事前警報システムを確立し、厳しく法に基づく監督管理を行う。



一、エネルギー構造を調整し、クリーンエネルギーの供給を増加する。

エネルギー消費構造の現状

- エネルギー消費総量が大きい
- エネルギーの利用効率が低い
- エネルギー利用における石炭の占める比率が大きい
- 地域の石炭消費がバランスしていない





一、エネルギー構造を調整し、クリーンエネルギーの供給を増加する。

1、消費総量制御

- 2017年、エネルギー消費総量における石炭の比重を65%以下に下げる。
- 北京天津河北省、山東省で石炭8300万トンを削減する。
- 北京天津河北省、長江デルタ、珠江デルタで極力石炭消費総量のマイナス増加を実現する。

2、クリーンエネルギーの使用

- 天然ガス、石炭天然ガス、炭層メタンの供給を拡大する。
- 2017年、非化石エネルギー消費の比重を13%に高める。
- 2017年、北京天津河北省での石炭ボイラー、工業用炉、石炭自家発電所の天然ガスへの代替改造を基本的に完了する。

3、石炭のクリーン利用

- 2017年、原炭の選炭率を70%以上に到達させる。
- 都市の高汚染燃料の燃焼禁止エリアを拡大する。
- 北方の農村地区にクリーン石炭配送センターを建設する。
- クリーン石炭と石炭ブリケットの使用を普及させる。

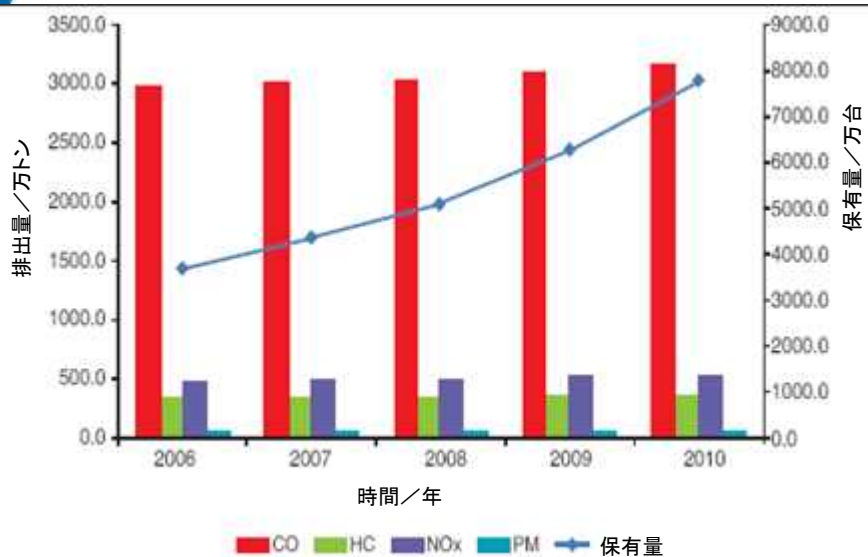
4、石炭使用効率の向上

- ◆ 省エネ評価審査制度を厳格に実行する。
- ◆ グリーン建築を積極的に発展させる。
- ◆ 熱エネルギー配管網の建設と改造を加速する。



二、車・ガソリン・道路の統一的計画案配を強化し、自動車による汚染防止を推進する。

- 2011年、全国の自動車が排出する大気汚染物は4607.9万トンであった。
- 自動車の窒素酸化物排出量は全国の窒素酸化物総量の約30%を占めた。





二、車・ガソリン・道路の統一的計画案配を強化し、自動車による汚染防止を推進する。

1、都市交通管理の強化

- 都市機能と配置計画を最適化し、インテリジェント交通管理を普及させる。
- 公共交通の利用比率を高め、自動車の使用量を下げる。
- 自動車の保有量を合理的に制御する。

2、燃料オイルの品質を上げる

- 2013年末に、全国で国家第四段階基準の車用ガソリンを供給する。
- 2014年末に、全国で国家第四段階基準の車用ディーゼルオイルを供給する。
- 2015年末に、北京天津河北省、長江デルタ、珠江デルタの重点都市で国家第五段階基準の車用ガソリン、ディーゼルオイルを供給する。
- 2017年末に、全国で国家第五段階基準の車用ガソリン、ディーゼルオイルを供給する。

3、イエローマーク車と老朽車両の淘汰を加速する

- 走行禁止区域を定める。
- イエローマーク車と老朽車両を徐々に淘汰する。
- 2015年に、北京天津河北省、長江デルタ、珠江デルタで500万台のイエローマーク車を基本的に淘汰する。
- 2017年に、全国範囲でイエローマーク車を基本的に淘汰する。

4、新エネルギー車を強力に普及させる

- ◆公共交通、環境衛生、政府機関が率先して新エネルギー車を使用
- ◆直接ナンバー登録、財政補助



三、市場メカニズム作用を発揮させ、総合価格経済政策を実施する。

1、天然ガスと製品 オイル面

- 非居住者用天然ガスの価格調整案を実施し、天然ガス価格決定のメカニズムを整備する。
- 非居住者用の備蓄天然ガスの工場出荷価格を引き上げる。
- 製品オイルをグレードアップし価格を引き上げる。

2、エコ電力価格面

- 石炭燃料発電機ユニットのエコ電力価格とエコ施設運行の監督管理を強化する。
(「石炭燃料発電機ユニットのエコ電力価格及びエコ施設運行監督管理弁法」の配付)
- 脱硝、除塵のエコ電力価格関連政策を実施する。
- 石炭燃料発電企業のエコ電力価格に対し補助を行う。
- 価格手段を運用してセメント業界の産業構造調整を促進する。

3、汚染排出費用徴収 基準の調整

- ◆「汚染排出費用徴収基準調整等の関連問題に関する通知」の配付
- ◆2015年6月までに主要汚染物排出費用徴収基準を引上げる。
- ◆差別化費用徴収基準政策を実行する。
(基準超過、排出総量超過及び立後れた生産能力の企業は**高い**徴収基準を実行する。汚染防止効果の良い企業は**低い**徴収基準を実行する。)



四、汚染モニタリング事前警報システムを確立し、厳しく法に基づく管理監督を行う。

- 大気汚染防止法の改訂を加速する。
- 国家空気品質モニタリング網を確立する。
- 重点汚染源のオンラインモニター制御体系を確立する。
- 重汚染企業の環境情報を強制的に公開する。
- 重汚染天気モニタリング事前警報体系を確立する。
- 地方政府の環境法規と政策の執行に対する監督を強化する。
- 環境違法行為を厳しく取り締まる。



現在の大気汚染管理の効果

■1、火力発電所廃ガス脱硝ユニットの容量が全国の現役火力発電機ユニットの容量に占める比率は、2012年末の28%から今年上半期には60%以上に増加し、大気窒素酸化物の排出量も大幅な低下傾向が見られた。

■2、前三四半期は、全国の単位GDPあたりのエネルギー消費が同期比4.6%低下し、“第十二次五カ年計画”以来最も良い成績をあげ、経済の“新常态(ニューノーマル)”下での新しいスポットライトとなった。

年間でCOD、アンモニア窒素、二酸化硫黄、窒素酸化物等の4種類の主要汚染物は夫々2.5%、2.5%、2%、6%以上排出削減され、“第十二次五カ年計画”の排出削減目標を全面的に実現する為に良好な基礎を打ちたてた。



大気汚染は欧米先進国が前世紀に直面した最も際立った環境問題であり、数十年の努力と模索を経て、効果的に基本解決を得たものである。





- **日本**も重大な大気汚染問題を経験した。日本は大気汚染防止の法律法規、クリーンエネルギー、新エネルギー自動車、都市インテリジェンス交通、エネルギー効率管理、大気汚染物制御等の面において豊富な技術と管理経験を有している。
- **中国**は大気汚染防止を推進する過程において、国際的先進経験を十分に参考とし、国際的先進技術を導入することを希望している。今後、政府間、企業間の交流を強め、実務協力を深めることを希望している。我々は早急に空気環境品質を改善するよう堅く決心している。



ありがとうございました！